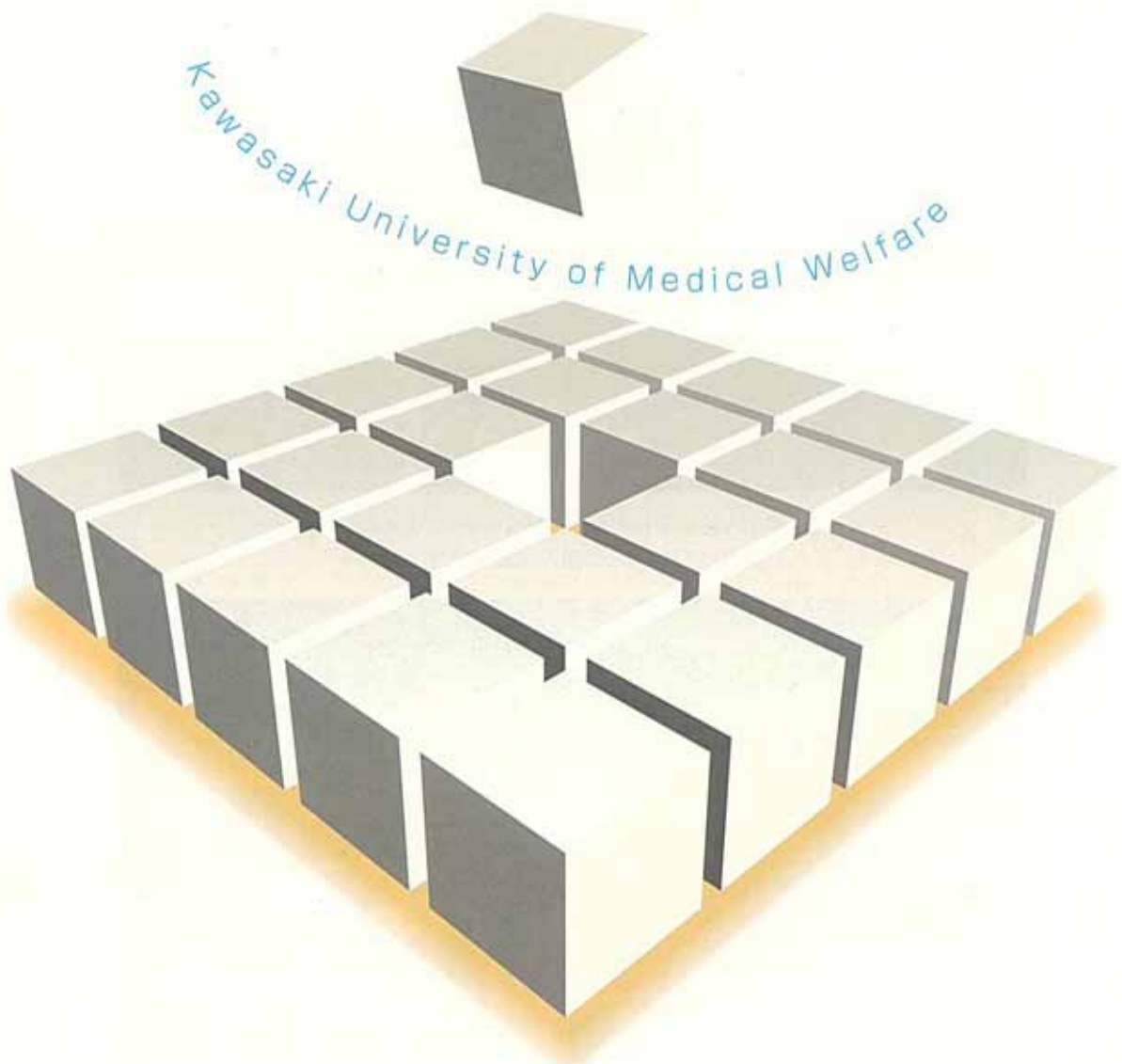


2005.1

川崎医療福祉大学 同窓会会報

号外



川崎医療福祉大学の時代ですね



昭和49年当時の学園周辺の様子です。
どこに福祉大学が建っているかみなさん、わかりますか？



その昔、開学当時…学校の裏に道路なんかなかったんだよな～
見渡して見えるのは田んぼばかりでした…



それが今では学生も増え、校舎も増えましたよ…
これは2002年4月の写真です。
上の写真と違うところ、ほら、学校の裏には道路もありますよ！

川崎医療福祉大学同窓会創立10周年記念式典



受付の様子です。
お手伝いして下さった方々、ありがとうございました。



会場はこんな感じですよ。
スタッフは1時間前に集合し、ただ今リハーサル中です。

17:30～総会

会長挨拶



実物の会長に会ったのが初めての方が多かったのではないのでしょうか？
これが「尾田幸夫」会長です。同窓会設立当初から会長を務めており、毎年会報を発行することに原稿をお願いしています。
「だんだん書くネタがなくなってきたー」と言っていますが、これからも皆様応援してくださいね。

来賓祝辞

現学長 岡田喜篤先生です。



皆様、お二人の話を熱心に聞いておられました。



歓談の様子です。



来賓紹介 当日はこのような先生方が出席してくださいました

川崎学園 理事長	川崎 明德
前学長	江草 安彦
学長	岡田 喜篤
短大学長	守田 哲朗
元副学長	大羽 葵
医療情報学科教授	上田 智
副学長	産賀 敏彦
副学長	小池 将文
副学長	安藤 正人
医大同窓会会長	垣田 敬治
短大同窓会会長	北山 彰
元医療福祉学科教授	緒方 正名
同じく	竹内 一夫
同じく元助教授	田淵 創
元臨床心理学科教授	木下 清
同じく	佐野 開三
同じく	酒井 修
元医療福祉環境デザイン学科教授	平島 二郎
元医療情報学科教授	水本 久夫
元健康体育学科教授	小西 博喜
元臨床栄養学科教授	日下 尚史
同じく	高木 茂明
同じく	難波 三郎

学長補佐	松本 真
学長補佐	斎藤 観之助
学長補佐	美祢 弘子
学長補佐	金光 義弘
医療福祉学部学部長	田口 豊郁
図書館長	加藤 保子
医療福祉学科学科長	小河 孝則
保健看護学科学科長	長尾 光城
医療福祉環境デザイン学科学科長	徳山 容
医療情報学科学科長	岡田 美保子
医療情報学科教授	山本 裕陸
事務部長	伊地知 均
医療福祉学科	佐々木 正美
医療福祉学科	保住 芳美
医療福祉学科	川上 富雄
医療福祉学科	岩淵 勝好
医療福祉学科	八重樫 牧子
医療福祉学科	李 永喜
医療福祉学科	清水 雅子
臨床心理学科	保野 孝弘
医療情報学科	堀 義巳
医療情報学科	格和 勝利
臨床栄養学科	松枝 秀二
臨床栄養学科	三宅 妙子

敬称略

これまでの同窓会、そしてこれから



川崎医療福祉大学同窓会 会長 尾田 幸夫

同窓会が発足しました平成7年4月より今年度をもちまして10年目の年を迎えることができましたことを心より嬉しく思います。この10年、同窓会を温かく支えてくださったすべての方々に、言葉には代え難い感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

川崎学園の建学の精神である「人間をつくる」「体をつくる」「学問を究める」の基、平成3年4月に開学しました私たちの母校川崎医療福祉大学は、めまぐるしく変化する社会のニーズに応えるべく、開学当初は2学部6学科で医療と福祉を統合した新しい分野のバイオニアとしてスタートしました。そして、今後も医療福祉に貢献する人材をさらに社会へと送りだしていこうとしており、益々発展していくその様に卒業生の一人として大きな喜びを感じ、誇りに思います。

さて、私たち同窓会役員がこの10年にしてきたことを振り返りますと、今では当たり前のように行っている会員のデータ、会報の発行、会費の管理など基礎づくりをしっかりと行う、ということに尽きると思います。もっと基礎のことを言えば会則を作っていくということから大きな活動だったと思います。そして、これらを行っていく過程で文字に表わすことができない様々なノウハウと言いましょうか、役員同士の連携、大学との連携、様々なものとの信頼関係が作られていったことが何よりも貴重なことだったと思います。

一般的に大学を出た年代が思うところ、同窓会はあった方が良いが、まだまだ気に留めることのないものだと思います。そのようなものが組織として活動し、今のように形あるものになってきたことは、本当に役員や同窓会に関わってくださった方々の将来を思う気持ちの尊い結果だと思います。私はこのようなもやもやした何一つなかった組織が、たくさんの人たちの温かい気持ちで今に至ったことを忘れてはならないと思います。そして、その中にいることができたことを幸せに思います。

組織作りから会員への活動を振り返ってみると、顔の見える同窓会、参加できる同窓会というものに進路をとってきました。会員のニーズや立場、思いの違いを考えながら、会員自身が自分にとって必要とする形を支援するということから同窓会の存在をお知らせしていこうと考えたのです。そして、各学科や地域の支部を支援する体制を作ってきました。

同窓会は昔の仲間と再会することができたり、先生方が卒業生に対して会報で「元気になっていますか」などとエールを送っておられるのを見て、個人化や効率が重視される現在の社会の中で、温もりを感じ、ふと立ち止まって考えさせられる瞬間を提供してきたように思います。そして、これから同窓会がこの10年で積み上げた基礎をどのように展開していくべきなのかを考える時が来ています。それは、今以上に会員、母校をはじめたくさんの人たちと連携していくことが必要です。様々なことをまずは想像し、そのための準備をして形にしていきたいと思います。その中で大切にしたいことは信頼される組織として存在することです。できることだけするという意味ではなく、できることをしっかりと続けるという一見地味なことが大切で、その結果信頼感や安心感を得、たくさんの人たちの協力や賛同を基にして今後の同窓会を発展していきたいと思っております。

最後になりましたが、川崎学園、川崎医療福祉大学の限りない発展を祈念いたしますと共に、同窓会に対する皆さま方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



川崎医療福祉大学同窓会 設立10周年に寄せて

川崎医療福祉大学 学長 岡田 喜篤

同窓会は、別名校友会とか学友会とも呼ばれますが、いずれも大学の歴史とともに大きな役割を果たしてきました。同窓会というものは、国公立の別なく存在しますが、なかでも私立大学にとっては格別に大きな意味があります。

歴史的に見ますと、同窓会は、母校の大学の昇格や拡充に多大な貢献をなした時代もありますが、現在では、大学への直接的支援活動というより、卒業生の親睦と母校の発展に寄与することを目的とした団体という意味合いが強いられています。確かに、一般論としてはそうですが、私立大学にとっては、とりわけ今日の自由化・個性化・多様化という潮流のなかで、新たな同窓会像が求められつつあるのも事実だと思います。

元来、私立大学には、建学の理念というものがあります。それを共有する人たちが、単に親睦だけでなく、大学で学んだ時から目指してきた社会的使命を遂行するに当たり、卒業後も互いに絆を強め、あるいは母校と連携しながら、自らの人生をより確かなものにしてしようと考えるとき、同窓会に寄せる思いや期待は著しく大きくなります。それは大学にとっても同様であります。特に本学のように歴史が浅く、しかも新しい分野の実学を中心とする大学の場合、同窓会の意味は極めて大きいと言わなければなりません。

川崎医療福祉大学同窓会について勝手な夢を語らせて頂くならば、会員相互の連携のネットワークを強固に構築し、医療福祉の思想を広める組織体として、その人間観・社会観・職業観を広めてほしいと切に願っています。さらに、将来のことですが、大学との連携のなかで、奨学金助成事業、留学助成事業、生涯学習事業などを実施できるような法人組織になることも検討して頂ければと願っています。結成10周年を機に、同窓会と大学とが、さらに緊密な関係を堅持してゆくことを改めて願いかつ誓うものであります。



「栄光の未来を」

川崎医療福祉大学 前学長 江草 安彦

川崎医療福祉大学十周年にあたって、お慶びを申し上げます。

卒業生のみなさん、全国各地でお元気で、ご活躍のことと思います。みなさんの発展の様子を見聞し、うれしく思っています。

平成3年、川崎医療福祉大学は、世界で最初の医療福祉総合大学として開学しました。文字通りバイオユニバーシティであり、リーディングユニバーシティであります。すべての学科もすべてわが国でそれぞれ最初に開設された独創的なものです。創立者川崎祐宣先生を迎えての第1回入学宣誓式の感激は忘れることが出来ません。大学は学問の府であり、真理探究を目的とするものですが、同時に川崎医療福祉大学はプラクティカルリベラルユニバーシティでもあります。リベラルアーツを基盤としつつ、なお医療福祉というプラクティカルな面を重視するものです。医療福祉学は思想であり、実践の学であります。本学はこの医療福祉学を基礎学として位置づけられているところに最大の特徴をもつものです。

私立大学には固有の精神性がなければなりません、川崎医療福祉大学はしっかりと固有の精神性をもつ大学です。その精神性を学んだ卒業生のみなさんは、すべてを「人類への奉仕」にむけて学び研究し、実践しようとしてまいりました。川崎医療福祉大学は、全人類の一人ひとりの生命の尊厳の確立をめざすものであるところに輝くものがあるのです。

私は川崎医療福祉大学の創立にあたり、初代学長という名誉ある役割をいただき草創の12年間を過ごしました。私自身、学生のみなさんとともに学び、育つことが出来たことを幸せであったと感謝しています。学長職を辞して後、名誉学長、医療福祉資料館長を命じられ川崎医療福祉大学と学生諸君、卒業生の栄光と発展に接することが出来ることも大きな喜びです。みなさんの限りない発展を心からお祈りします。

イベント参加者の声

記念イベントに参加して

臨床栄養学科4期
川崎 靖子

「久しぶり!元気?」大学を卒業して早や6年が経ち、就職、結婚そして今は育児と目まぐるしく環境は変わり、これは私に限った事ではないと思います。学生時代から仲の良かった同級生とは卒業後も何度か会う機会はあったのですが、今回の10周年記念イベントに参加したことで、お世話になった先生方や先輩、後輩と顔を合わせ、昔を懐かしみ今を語り合うことができました。最初はイベントに行こうかどうかを迷っていましたが、同じ時代を共に過ごした仲間と再会して時を過ごすことの楽しさと大切さを味わった私は、次回「20周年記念式典のご案内」の葉書が届いたその時も、「出席」に〇を付けようと思っています。次は10年後?みんなどうなっているのか楽しみです。今度はもっとたくさんの人たちと再会でできればいいなと期待しています。

また今度。

感覚矯正学科 視能矯正専攻5期
前田 史篤

大学生だった頃、毎日同じフロアと同じ教室、同じ席順で顔を合わせていた同期の面々、毎週講義を担当していただいた恩師の先生方、毎晩のように食事を共にしていた友人や先輩方と同窓会で再会した。少なからず当時と違った不思議な感じを受けるのは、懐かしいという感覚なのか、それともお互いの加齢変化に戸惑っているのか……。

帰り際、「また今度。」と多くの面々とお別れした。同じ分野で働く人間は学会等で会うかもしれないが、それ以外の面々との「また今度。」の予定は未定である。その分、再び対面した時の、妙な感じがまた楽しみである。

「また今度。」の同窓会開催を期待すると共に、準備・運営にご尽力いただいた同窓会尾田会長をはじめとする理事の皆様へ深く感謝申し上げます。

医療情報学科7期
中嶋 徹人

今回、川崎医療福祉大学同窓会10周年記念総会の受付をさせていただきました。受付をするのは初めてだったのですが、卒業生に常に笑顔で対応することを心掛けました。受付の途中で立食パーティーに参加させてもらう機会があったので、中に入り食事をしながらお世話になった先生や先輩と懐かしい話をしました。少し話をしただけですが、こういう同窓会がないとなかなか話をする機会がないので、今回は本当に受付をさせてもらって有意義な時間が過ごせたと感じています。

感覚矯正学科 視能矯正専攻10期
藤原 篤之

私は10期の卒業生で、卒業してまだ1年足らずです。そのため、参加の旨を伝える際に、“場ちがいいではないだろうか”という不安さもありました。しかし会場は非常に打ち解けた雰囲気、美味しい料理・懐かしい“中庄の今昔ビデオ集”・先生方や同窓生との楽しいお喋りと、大満足の夜を過ごすことができました。また、他職種の方々との情報交換の場としても、大変意義のある場と感じました。今後もこのような会が開催された際には、是非参加させて頂きたいと考えています。最後になりましたが、このような会を企画・運営して下さいました、同窓会事務局を始めとする関係者の皆様へ心よりお礼申し上げます。

プログラム

総 会

受付 17:00～
 開始 17:30～
 開 会
 会長あいさつ
 来賓祝辞
 来賓紹介
 10年間の事業報告ならびに今後について
 10年間の会計報告ならびに今後について
 閉 会

懇 親 会

開 会 18:00～
 来賓あいさつ
 乾 杯
 食事・歓談
 支部紹介
 大学周辺の今、昔
 閉会あいさつ
 閉 会 19:30

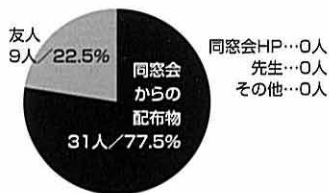
本日のメニュー

- 冷製料理** ◆スモークサーモンの彩り野菜添え ◆魚介のマリネ 白醬油を隠し味に
 ◆イタリア産サラミと生ハム 詰め物をしたオリーブを添えて
 ◆各種サンドイッチの盛り合わせ ◆トマトとモッツァレラチーズ オリーブの香り
 ◆季節のサラダ ◆季節のフルーツ盛り合わせ
- 温製料理** ◆本日のスープ ◆各種フライの盛り合わせ タルタルソース添え
 ◆真タイの薄切りグラッセ ディエップ風 ◆若鶏のしそ胡麻風味、ゆず味噌風味
 ◆仔牛のブランケット ゴボウ添え ◆ラザニエ エミリア風
 ◆ホテル特製ビーフピラフ ◆中華点心
- デザート** ◆シェフ特製デザート ◆各種ホテル特製パンの盛り合わせ ◆コーヒー
- 日本料理** ◆細巻寿司 ◆温そば

当日お配りしたアンケートの集計結果です。

出席者 153人 / 回答者 40人 (26%)

1. 今回の会をどのような形で知りましたか?



2. 今後このような会がある場合参加したいですか?



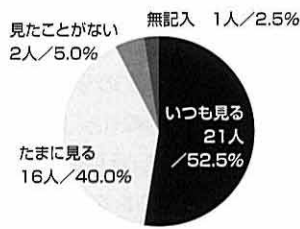
3. 今回の参加で一番良かったことは何ですか?

- 学校の様子のビデオ…3人
- 久しぶりに友人と話せた…21人
- 恩師との再会…21人
- 先輩に会えた…3人
- 地元で働いている卒業生の方を知った…1人
- 食事が良かった…4人
- 無料…2人
- 他学科の卒業生と話げできた…1人

4. 同窓会の活動に関して興味がありますか?



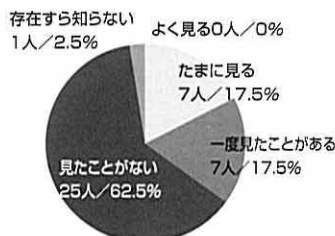
5. 同窓会からの会報をご覧になりますか?



6. 会報に関して何か改善点・ご意見がありましたらお書きください

- 新しい情報・大学の今の状況を教えて欲しい
- がんばってもっと発行してください
- 卒業後の先生や学校の活動
- いつも立派な冊子作成をありがとうございます

5. 同窓会のHPを見たことがありますか?



8. 同窓会のHPに関して何か改善点・ご意見がありましたらお書きください

- 私たちが学生生活をしてたころの写真でギャラリーを作って欲しい
- 中身がない
- 先輩方の活躍ぶりを知りたい

9. その他ご意見・ご感想がありましたらお書きください

- 年に1回して欲しい
- 次回は土曜日開催がいい
- 無料が良い
- お忙しい中企画していただきありがとうございました
- 今回の同窓会のこと友人から聞いた。知らない人が多い。みんなに知らせるようにして欲しい
- 今後も何か協力できることがあったらお手伝いします

★アンケートへのご協力ありがとうございました★

18:00～懇親会



来賓挨拶

川崎学園理事長 川崎明徳先生も
お祝いにかけていただきました。

来賓挨拶

前学長 江草安彦先生も
かけつけていただきました。
私たち、30歳前後の学生には
懐かしくないですか？
(ちなみに私は3期生)



こんなに可愛い参加者もありました



久しぶりの恩師との再会も

しっかり
盛り上げて
ますよ!



われわれスタッフは、この笑顔のために頑張りました。
期待に応えてくれて、ありがとうございます。



ハイポーズ★



あまりにもきれいだったので、ページの最後ですが
花を添えさせてもらいました。

支部紹介

各地に支部が発足しております。卒業後も福祉大との接点を保ちながら、お互いに近くにいるもの同士で情報交換を行っております。せっかくなので、各支部の代表者を紹介させていただきます。



医療福祉学科支部長
三石 哲也さん



九州支部長代理
宮崎 かおりさん



兵庫県支部長
佃 正信さん



福山支部長
小林 由卓さん
他2名



関東支部長
林 貢一郎さん



副会長
高原さん
です。(おまけです)

閉会

終了

多くのご参加ありがとうございました。



スタッフ



来賓、教職員47名、同窓生153名の参加があり、当日は無事会を終えることができました。

参加できなかった方も次回はより多くの方々に参加できることを
われわれスタッフは願っております。(次はタダにはできないかもしれませんが…)

ありがとうございました

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

tel.fax 086-462-8541 月・火・水 9:00~12:00
第2土曜日 14:00~16:00
上記以外の時間留守TELになります。

E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

編集・デザイン 広和印刷株式会社

〒700-0942 岡山市豊成3丁目18-7

tel. 086-264-5888 fax. 086-262-1525

E-mail : info@kwp.co.jp URL : http://www.kwp.co.jp